

自動車リサイクル

廃車関連スクラップ、ハーネスが小幅に下落

廃車関連スクラップのうち非鉄構成要素では、ハーネスが一部高値で665～675円/キ程度に値下がりした。銅建値が前月末から10円下げの1キあたり1,570円に反落し10月がスタートしたことが下落の主な要因だ。ただ、輸出市場では一部の輸出筋に思惑的な高値買いが根強く残っている。ある業者筋は「700円近くの高値もある」と漏らす。

アルミはメーカー各社と原料問屋による10月前半の値決め交渉が本格化する中、一部のメーカーが特定の品種を除きキ5円上げを唱えている。ただ、製品価格の低迷で大半のメーカーは高値敬遠の姿勢を強めたままで、他社への波及は現時点で未知数だ。アルミホイール(1ピース)は足元一部高値で305～315円/キ程度を強含み様子見で推移している。

■関西市中、上値の重い商状

関西地区の廃車関連鉄スクラップ相場は岡山以西で続伸した。先週20日付で東京製鉄が西日本地区の拠点

廃車素材別相場一覧		西日本	東日本
鉄構成要素		実勢相場(円/t)	実勢相場(円/t)
足回り・シャーシ		20,000～21,000	16,000～19,000
白黒エンジン		36,500～38,500	34,000～37,500
廃車ガラ*注		17,500～18,500	15,000～17,000
廃車プレス*注		19,500～20,500	16,500～18,500

注：取引ダスト30%引き前

非鉄構成要素		実勢相場(円/kg)	実勢相場(円/kg)
触媒(ハニカム、1個)		9,500～10,500	9,500～10,500
ハーネス		585～615	565～595
セル・ダイナモ※1		140～150	138～146
アルミラジエター※2		55～60	56～60
バッテリー		95～100	96～102
アルミホイール(1ピース)		295～305	291～305

※1=手バラしの良品(中古含む)を対象。

※2=全体の2割がた交差ラジエターとヒーター・コア・ラジエターを混載した品物。
(日刊市況通信社調べ)

で値上げ改定を実施。岡山以西の電炉筋に追随値上げの動きが広がり、廃車関連の鉄構成品(足回り・ボディガラ等)は一部地域で500円がた続伸する動きとなった。ただ、大阪地区の電炉筋は様子見姿勢を維持。引き続き地域によって価格対応が異なる展開となっている。

なお東海以東では、市中相場がほぼ変動していないこともあり、鉄構成品も横ばい推移が続いている。

JARC、マテックで小学生を対象とした自動車リサイクルの見学会を開催

自動車リサイクル促進センター(=JARC、東京都港区、細田衛士代表理事)は9月22日、マテックELV解体工場(北海道石狩市)およびマテック石狩新港事業所(北海道石狩市)で、札幌市立東苗穂小学校5年生が参加する見学会を開催した。

当日参加者は、まず座学で自動車が解体されてから部品や資源が回収されるまでの一連の工程を学び、次

に工場へ移動し、エアバッグを適切に処理する様子や、重機で車両を解体・破砕する様子のほか、最終的に回収された金属資源などを見学した。



エー・エム・プロダクツ、LIBの火災対策製品を販売

油・液体吸収材や環境管理機器などの輸入・販売事業を展開しているエー・エム・プロダクツ

(本社=東京都世田谷区、八尾雄一社長)はこのほど、リチウムイオンバッテリーの火災対策製品「ファイヤーブランケット」の販売に注力している。



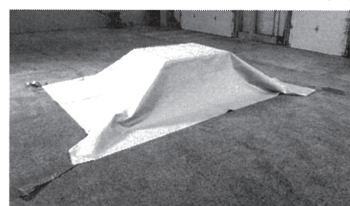
緑十字展に出席

ファイヤーブランケットは、熱暴走時にかぶせて火を遮断・ガスの拡散を抑制する耐熱ブランケットとなる。サイズは、「品番：BAT310A(縦299cm×横400cm)」「品番：BAT311A(縦600cm×横600cm)」「品番：BAT312A(縦600cm×横800cm)」「品番：BAT313A(縦900cm×横1,200cm)」の4種類。対象物は乗用車やトラック、小型電動作業車、フォークリフトなどで、リサイクル事業者を筆頭にさまざまな業種で活用することができる。またバッテリーに直接かぶせることもできる商品もあるため、素早い火災防止策を講じるだけ

でなく、二次災害も未然に防ぐことができ、安全と避難時間の確保にも期待できるという。

リチウムイオンバッテリーによる火災件数は、過去5年で1,500件以上にものぼり、年々増加傾向にある。リチウムイオンバッテリーの火災は水を用いた消火が難しく、有毒ガスも発生することから、通常の火災とは異なる延焼防止と有毒ガスの拡散防止策が必要となり、これらの防止策を打たなければ甚大な被害を伴う事故にもつながりかねない。

自動車リサイクル業界では、HVやEVの普及により、リチウムイオンバッテリーによる火災に対して警戒を強めている状況にある。ファイヤーブランケットは火災対策に最善と言え、今後も一層の注目が集まることが予想される。製品に関する問い合わせは電話03(5481)9002のマーケティング部(担当：沼田)まで。



ファイヤーブランケットの使用イメージ